

NEU

CX4



CX7



製品の特徴

この度はNEU製プロフェッショナルオーディオミキサーCX4,CX7をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

スペック

電源		AC 100V 50/60Hz
寸法	CX4	305 x 240 x 50 mm
	CX7	420 x 195 x 50 mm
重量	CX4	3.2kg
	CX7	3.6kg
モノラル入力チャンネル		
MIC 入力		バランス、分離入力構造
周波数特性		10Hz - 200kHz
ゲインレンジ		+14 dB - +60dB
SNR		120dB E.I.N.
LINE 入力		
周波数特性		10Hz - 130kHz
ゲインレンジ		-6dB - +38dB
SNR		95 dB E.I.N.
ステレオ入力チャンネル		
周波数特性		10Hz - 70kHz
ゲインレンジ		LINE : -8dB - +15dB
		MIC : +13 - +60 dB
SNR		LINE : 96 dB E.I.N.
		MIC : 104 dB E.I.N.
イコライザー		
HI		10kHz,+/- 15dB
MID		700Hz,+/- 15dB
LOW		50Hz,+/- 15dB
メインミックス		
メイン出力		+22 dBu アンバランス
AUX SEND		+22 dBu アンバランス
EFF SEND		+22 dBu アンバランス
TAPE OUT		+22 dBu アンバランス
PHONES		+15 dBu /150

各部の名称と使用方法

CX7



入出力セクション

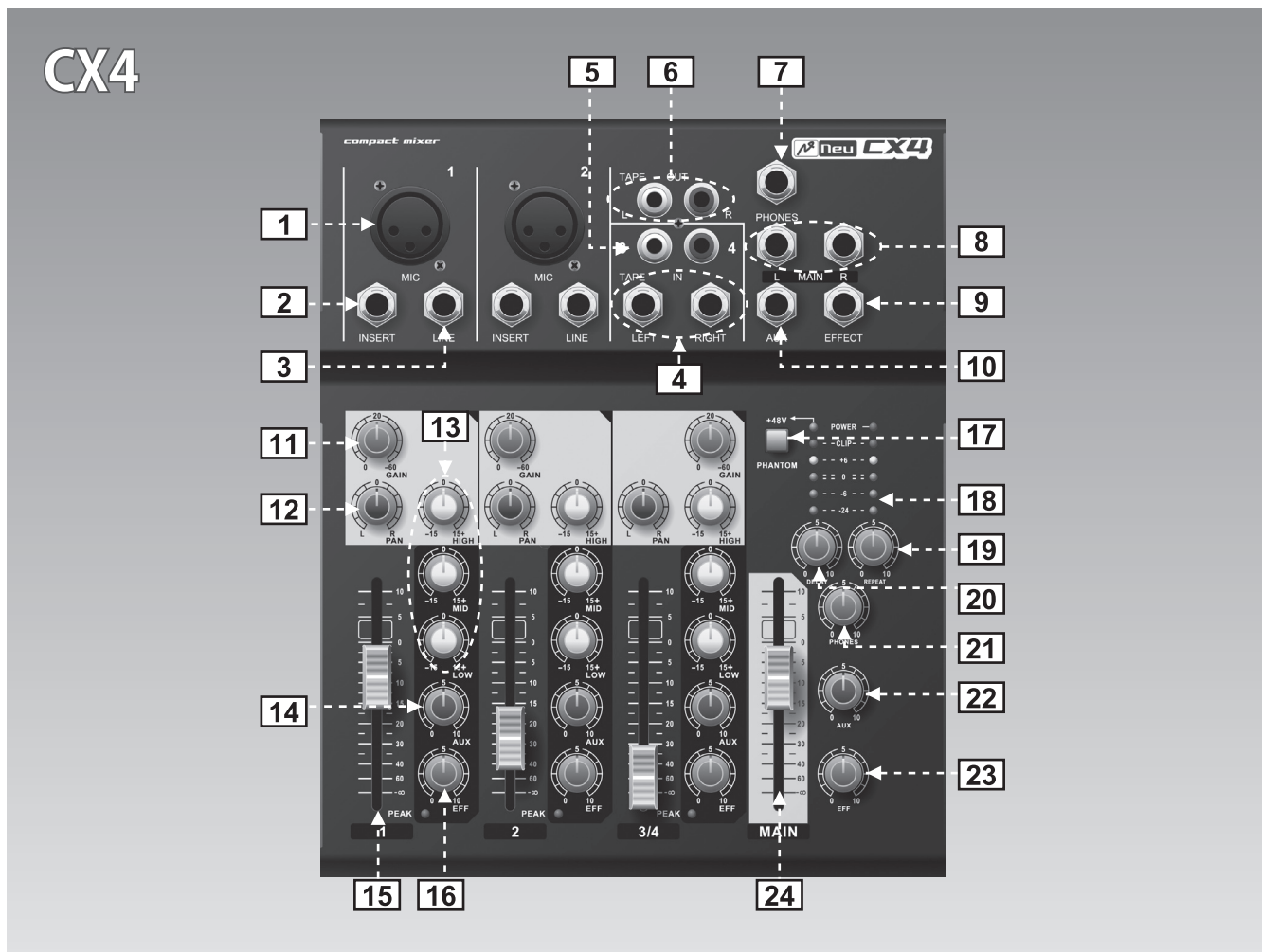
- 1** マイク入力 マイクと本体を XLR ケーブルで接続することができます
コンデンサーマイクなどファンタム電源を必要とする場合は **17** のスイッチを押してファンタム電源を有効にしてください
- 2** INSERT ジャック コンプレッサーやイコライザーをモノラルチャンネルで使用する際に INSERT ジャックを使用します
- 3** LINE 入力 CH1-CH5 の 1/4" ジャックを使用してライン機器を入力することができます (※ CX4 では CH1-CH2)
- 4** ステレオ LINE 入力 1/4" ジャックを使用して CH6/7 ステレオチャンネルに入力します (※ CX4 では CH3/4)
- 5** TAPE IN ステレオ RCA ジャックを使用し、CD などのプレイヤーを接続することができます

- 6** TAPE OUT RCA ジャックを通じて録音機器などに出力することができます
- 7** ヘッドフォン出力
- 8** MAIN OUTPUT 1/4" ジャックを使用しマスターを出力します
- 9** EFFECT SEND 外部エフェクターを接続し、エフェクト SEND 信号を送ることができます
- 10** AUX SEND モニター信号を出力しています

各チャンネルコントロールセクション

- 11** MIC GAIN 各モノラルチャンネルのマイク入力レベルを調整します
- 12** PAN PAN を設定することができます 音を左右に振り分け調整しましょう
- 13** 3 バンド EQ

HI	高音域を増幅 / 低減の調整
MID	中音域を増幅 / 低減の調整
LOW	低音域を増幅 / 低減の調整



- 14** AUXコントロール 各チャンネルから AUX MIX バスへの出力レベルを決定します

15 チャンネルフェーダー 各チャンネルのボリュームを調整します

16 EFF コントロール エフェクトボリュームを調整します
- 22** AUX SEND AUX MIX バスから **10** コネクターへの出力レベルを決定します

23 EFF SEND 外部エフェクターへの出力レベルを決定します

24 マスターフェーダー 全ての出力ボリュームを調整します

メインコントロールセクション

- 17** +48V ファンタム電源 スイッチを押して有効にすることで、コンデンサーマイクなどに電源を供給することができます
- 18** レベルメーター 出力レベルを LED Clip で表示します
- 19** REPEAT 本体内蔵ディレイの繰り返しの長さを調整します 強くかけすぎるとハウリングの原因になりますのでご注意ください
- 20** DELAY 本体内蔵ディレイのかかる間隔を調整します
- 21** ヘッドフォン出力のボリュームを調整します

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。

※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。

※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。

※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。

※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。

この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。